

令和7年度 学校経営方針

1 学校経営方針策定の理由

これからの社会は予測が困難で、変化の激しい時代であり、AIの進化、グローバル化、環境問題、価値観の多様化など、これまでの常識が通用しない状況が増えている。そのような社会では、決められた道を進むだけでは未来を切り拓くことはできず、「自分の力で未来を創る」ことが求められる。

本校は、生徒一人一人が自らの意志で考え、決断し、行動し、未来を切り拓いていくことを目標とし、そのために「主体性」を教育の核として据え、主体性を支える3つの柱を中心に教育を展開する。主体性とは、「自らの意志で考え、判断し、行動できる力」であり、社会の変化に対応しながら自らの生き方を切り拓くために不可欠な力である。それは、「自ら問いを持ち学び続ける力」「困難に向き合い挑戦し変化に適応する力」「他者と協力し未来を創る力」の3つの要素から成り立っており、本校ではこの3つの力を育成することで、生徒たちが自分の未来を自分で創る力を身につけられるよう支援する。

【学校教育目標】

学ぶ意欲と豊かな心をもち、たくましく生きる生徒の育成

【目指す生徒像】

自己実現をめざし、自分の意志で一步ずつ歩みを進め、明るい未来を創る生徒

【スローガン】

自分軸で進む！ 未来を創る！

※ 目指す生徒像とスローガンのつながり

このスローガンは、目指す生徒像を実現するための指針である。

「自分軸で進む」・・・自分の考えを大切にし、自分らしい道を進むこと。

「未来を創る」・・・与えられた未来を待つのではなく、自ら進んで新しい価値を創造していく姿勢。

2 主体性を支える 3 つの柱

自らを理解し、学びの方向を定め、探究する力

～ 自分の価値観や目標を見出し、問題を発見し、課題を設定し、解決策を考える力 ～

【自己理解力】・・・「自分を知り、学びと成長の方向を見出す力」

- 自分の価値観・強み・弱みを知り、どのように成長していくかを考える力。
- 何に興味があるのか、何が自分に合っているのかを探り、学びの軸を持つことができる。
- 自分の未来を見据え、どのように生きるかを考えるきっかけをつくる。

【問題発見力】・・・「身の回りの違和感や困りごとに気づき、解決すべき問題を見つける力」

- 目の前で起こっている「困りごと」や「違和感」に気づく力。
- まだ明確になっていない問題を掘り起こし、その原因を考える力。
- 「なぜこうなっているのか?」「本当の問題は何か?」と深く考え、解決の糸口を見つける力。

【思考力・創造力】・・・「発見した問題について課題を設定し、深く考え、創造的に解決する力」

- どのように解決すればよいのかを考え、解決の方向性を設定する力。
- 課題に対して論理的に考え、さまざまな視点から解決策を探る力。
- 既存の方法にとらわれず、新しいアイデアを生み出し、創造的に解決する力。

困難を乗り越え、挑戦し続ける力

～ 壁にぶつかっても諦めず、挑戦し、変化に適応しながら前進する力 ～

【困難を乗り越える力】・・・「へこたれず、前向きに進む力」

- 失敗や困難に直面しても諦めず、粘り強く取り組む力。
- 困難な状況でも、自分で解決策を考え、行動できる力。
- 困難を乗り越える経験を通して、自分の可能性を広げる力。

【挑戦する力】・・・「失敗を恐れず、新しいことに積極的に取り組む力」

- 失敗を学びと捉え、新たな挑戦を続ける力。
- 自分の限界を決めずに、新しいことに取り組む姿勢を持つ力。
- 未知のことにも前向きに向き合い、自分の成長につなげる力。

【変化に対応する力】・・・「新しい環境や状況の変化を受け入れ、柔軟に適応する力」

- 新しいクラスや人間関係、学習内容の変化に前向きに対応する力。
- 変化を恐れず、自分なりの方法で新しい状況に適応する力。
- これまでのやり方にこだわりすぎず、新しい考え方や方法を受け入れる力。

人とつながり、未来を創る力

～ 多様な人と協力し、より良い未来を創る力 ～

【他者理解力】・・・「相手の考えや価値観を尊重し、多様な人と関わる力」

- 相手の考えや立場を理解し、違いを受け入れる力。
- 自分と異なる価値観の人とも協力し、学び合う力。
- 他者と関わる中で、新たな視点を得る力。

【社会を変える力】・・・「私たちの社会の課題を考え、自ら未来を創る力」

- 私たちの社会にある課題に気づき、より良い未来のために考える力。
- 「自分にできること」を見つけ、積極的に行動する力。
- 私たちの社会に貢献する意識を持ち、自ら動く力。

【協働する力】・・・「仲間と共に考え、協力して新しい価値を生み出す力」

- 互いの意見を尊重しながら、一緒に考え、協力する力。
- 目標に向かって役割を分担し、チームとして取り組む力。
- 仲間とともに未来を創り上げる力。

3 育成すべき資質能力と育成の場

自らを理解し、学びの方向を定め、探究する力

資質・能力	育成の場	具体的な育成方法
自己理解力	キャリア教育	自分探求、キャリアパスポート、職場体験等
問題発見力	各教科の授業 話し合い活動（特活）の時間	探求的な学習での「問い」の設定 学校生活の中での問題発見
思考力・創造力	各教科の授業	思考力・判断力を育成する学習

困難を乗り越え、挑戦する力

資質・能力	育成の場	具体的な育成方法
困難を乗り越える力	学校行事	体育祭での係活動の取組
	総合的な学習の時間	探求的な学習の取組
挑戦する力	じぶん探求	じぶん探求の学習過程での自己調整
変化に対応する力	総合的な学習の時間	探求的な学習の取組

人とつながり、未来を創る力

資質・能力	育成の場	具体的な育成方法
他者理解力	道徳 体育祭	他者理解に関わる内容項目
	話合いの時間	
社会を変える力	学校行事 生徒会活動	生徒の自治的な活動
協働する力	体育祭	体育祭の班活動、係活動

4 学校経営の重点項目

主体的に学ぶ学習者を育成するための取組の推進

- (1) 全ての生徒が「わかる」「できる」「楽しい」「成長する」を感じることができる授業づくり
生徒が自分で学び、成長を実感できる授業を作り、学びの楽しさと達成感を感じられるようにする。
- (2) 読解力を高め、表現力を強化するための取組
文章問題の理解力を向上させ、表現力の強化を図る取組を行う。
- (3) 協働や課題解決型の学習を通して、生きた知識を育み、思考力と創造力を高める授業づくり
生徒が協力し合いながら実践的な課題に取り組むことで、生きた知識を育て、思考力や創造力を引き出す授業を実現する。
- (4) 自分で考え、学習計画を立てて進み具合を確認し、理解度に応じて内容を調整しながら進める家庭学習の推進
生徒が自分で学習計画を立て、学習の進み具合をチェックし、理解度に合わせて内容やペースを調整しながら進める力を養う。

自己実現力を高めるための取組の推進

- (1) 自己理解を深め、夢や希望を持って自分の将来を描き、実現に向けて計画を立てる力を高めるキャリア教育の充実

自己理解を深め、夢や希望を持って自分の将来を描き、実現に向けて計画を立てる力を高めるキャリア教育の充実。

- (2) 生徒一人一人の成長を支え、自己実現を促す生徒指導の推進

日々の生徒との関わりを通じて、個々のニーズや課題を理解し、支援を行うことで、自己肯定感を高め、進路選択や目標設定に向けたサポートを強化し、自己実現に導く。

- (3) 生徒の自己肯定感を高める学びの振り返りと対話の推進

生徒一人一人の努力や成長を認め、ポジティブなフィードバックを通じて自己肯定感を高め、学びの意欲を引き出す。

- (4) 生徒の学びが社会や生徒の将来につながりをもたせるための取組の推進

生徒が学んでいる内容が自分の将来にどうつながるかを実感できるようにする。進路やキャリア教育との連携を強化し、生徒が学んだ知識やスキルが社会でどのように役立つかを具体的に示しながら、自己実現に向けた学びを促進する。

人権教育を通じて、多様性を認め合い、

全ての生徒の能力を引き出す集団づくりの推進

- (1) 生徒一人一人の多様なニーズに応じた支援を提供し、すべての生徒が自己の成長を実感できる取組の推進
すべての教職員が特別支援教育のポリシーを実践し、個別のニーズに応じた支援を提供することで、すべての生徒が自己の成長を実感できるよう取り組む。

- (2) 多様性を尊重する人間関係づくりとコミュニケーションの促進

生徒同士がお互いの違いを尊重し、円滑なコミュニケーションを図れるよう、積極的に対話の場を設け、協力や共感の精神を育む活動を通じて、誰もが安心して自己表現できる環境を作る。

- (3) 教員の人権意識の向上とその教育実践への反映

教員が生徒のよさを認め、言葉をかけることによって、自己肯定感や学びの意欲が高まり、信頼関係が築かれ、積極的な行動が促進される。これにより、生徒は成長し続ける力を養い、学びの環境全体が前向きで安心できるものとなる。

社会を変えていく力の育成を目指した取組の推進

- (1) 特別活動における合意形成力を高める話し合い活動の推進

特別活動で、合意形成を目的とした話し合い活動を充実させる。生徒が主体的に意見を交わし、協力して課題を解決する経験を通じて、社会を変えていく基礎的な力を育む。

- (2) 人とのつながりを大切にし、地域の未来を創造するふるさと教育の推進

地域の問題を明らかにし、地域の人々と共に生徒自身が中心となって課題を設定し、その解決に取り組む。生徒が主体的に地域の未来を描き、多様な人々との協働を通じて新しい価値を創出する力を育てる。

(3) 生徒同士の自由な交流や対話から新たな活動が生まれる自治活動の推進

生徒が自由に意見やアイデアを交わし合い、交流や対話を深めることで、新たな活動や価値を創り出す自治活動を推進する。生徒自身の主体性や創造性を高め、社会をより良く変えていく力を養う。

創造的に働ける職場環境づくりの推進

(1) 業務改善による創造的な仕事の時間確保の推進

教職員が創造的で質の高い教育活動に集中できるよう、業務の無駄を省き、効率化を進め、創造的な仕事に取り組む時間を確保する。

(2) 地域の企業や人材の力を生かした教育活動の推進

地域の企業や人材と連携して教育活動を展開し、多様な視点や経験を教育に取り入れることで、教職員自身の視野を広げ、創造性を高める。

(3) 教職員が安心して意見やアイデアを出し合える職場風土の推進

教職員が自由に意見やアイデアを発信し、失敗を恐れずに新しいことに挑戦できるよう、管理職を含めてお互いの良さを認め合う職場環境を整える。